

「人工衛星画像を活用した保険金支払いの高度化」が Insurance Asia Awards 2021を受賞

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬伸一、以下「当社」)における「人工衛星画像を活用した保険金支払いの高度化」の取り組みが、Charlton Media Group主催の“Insurance Asia Awards 2021”において、“Claims Initiative of the Year – Japan”を受賞しましたので、お知らせします。

近年、地球規模の気候変動による自然災害の激甚化が世界各地で大きな脅威となっています。当社は増大する自然災害リスクという社会課題に対し、テクノロジーを徹底活用した取り組みを進めてまいりました。

今回の“Insurance Asia Awards 2021”の受賞は、上記の取り組みの1つである「人工衛星画像を活用した保険金支払いの高度化※」が評価されたものです。人工衛星のデータとAIを活用することで、大規模な水害発生時における水害の被害範囲や、数センチ単位での浸水高について、迅速に把握することが可能となりました。これにより、従来は保険金支払いに平均2～3週間程度要していた時間の大幅な短縮に繋がっています。

当社はこれからも、お客様・地域社会の「いざ」をお守りするために、さらにデータやデジタルの活用を進め、新たな価値を提供してまいります。

※ 2020年12月29日ニュースリリース

衛星企業3社との協業 ～人工衛星画像を活用した保険金支払いの高度化の取り組み～

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/201229_01.pdf



なお、“Insurance Asia Awards 2021”受賞にあたり、東京海上ホールディングス株式会社の常務執行役員グループCDO生田目雅史インタビュー映像(英語)が、以下URLから配信されております。

<https://insuranceasia.com/videos/insurance-asia-awards-2021-winner-tokio-marine-nichido-fire-insurance-co-ltd>

【Insurance Asia Awards 2021とは】

Insurance Asia Awardsは、シンガポール、香港、フィリピンに拠点を置く大手ビジネスメディア・グループ Charlton Media Groupが2016年に開始した表彰制度です。最先端のイノベーションを起こし、保険業界にインパクトをもたらした商品・サービスや取り組みを展開するアジア諸国の保険会社を表彰しています。